



本会議場

 **きたひろしま**
議会たより

vol.16
2009. 5. 15

第1回定例議会 <2月5日～2月13日>
第1回臨時議会 <3月24日～3月26日>

平成21年度骨格予算 P2～P3
一般質問 10議員が町政を問う P4～P8
議会構成決まる P9～P12
意見箱・議会表彰 P14

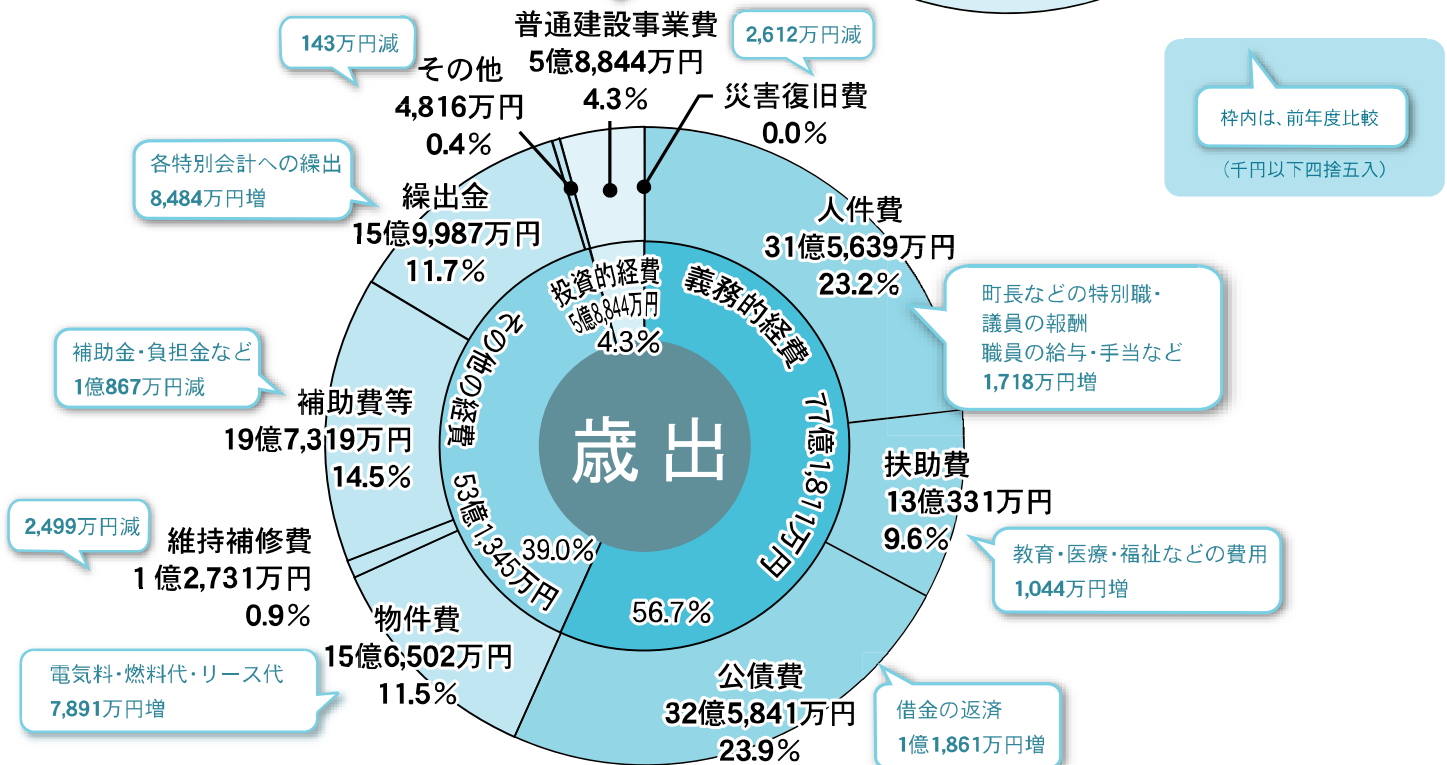
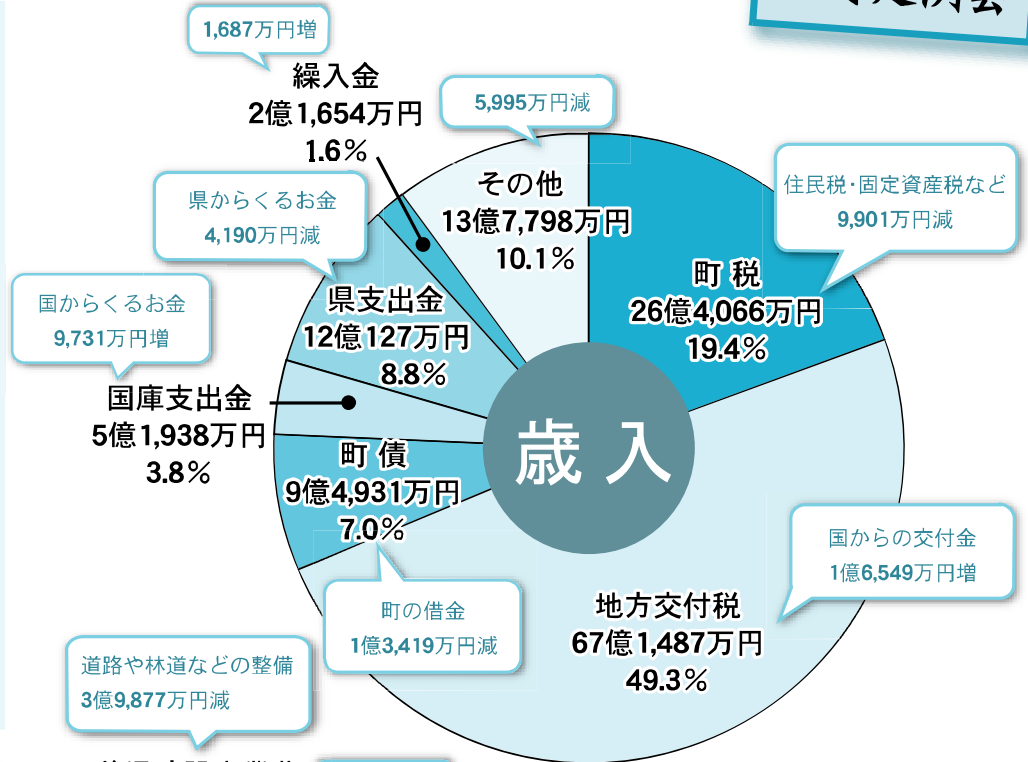
本格的予算
に
匹敵する

前年比 2億5,000万円減の骨格予算

一般会計 136億2,000万円

2月定例会

北広島町議会は、二月定例会を二月五日から十三日までの九日間の会期で開きました。今回の定例会は、三月の町長選・町議選を控え、「経常的事业に要する経費、および人件費などを主なもの」として「平成二十一年度北広島町一般会計骨格予算（前年比九八・一三六億二千万円）」、国の「地域活性化・生活対策臨時交付金（五億二千万円）」などを活用した「平成二十年度補正予算」などの議案について審議を行い、すべて原案のとおり可決しました。



枠内は、前年度比較
(千円以下四捨五入)

(単位:万円)(△=減)

会計名		21年度骨格予算額	20年度当初予算額	予算増減額
一般会計		136億2,000	138億7,000	△2億5,000
国民健康保険特別会計		21億8,900	23億2,500	△1億3,600
老人保健特別会計		330	3億0,200	△2億9,870
下水道事業特別会計		14億4,900	17億9,200	△3億4,300
農業集落排水事業特別会計		4億2,800	3億9,600	3,200
介護保険特別会計		23億0,900	22億3,400	7,500
簡易水道事業特別会計		3億7,100	8億3,900	△4億6,800
電気事業特別会計		5,100	5,100	0
住宅団地等開発特別会計		990	1,480	△490
芸北財産区特別会計		1,200	860	340
診療所特別会計		1億8,950	1億8,100	850
情報基盤整備事業特別会計		19億1,300	12億1,500	6億9,800
後期高齢者医療特別会計		2億5,400	2億7,550	△2,150
計		227億9,870	235億0,390	△7億0,520
公営企業会計		21年度骨格予算額	20年度当初予算額	予算増減額
水道事業	収益的収入	1億4,799	1億5,034	△235
	収益的支出	1億4,909	1億5,183	△274
	資本的収入	6,385	2億2,900	△1億6,514
	資本的支出	8,849	2億6,438	△1億7,588
豊平病院事業	収益的収入	8億6,070	8億3,669	2,401
	収益的支出	8億6,070	8億3,669	2,401
	資本的収入		2,113	△2,113
	資本的支出	4,325	5,551	△1,226

平成21年度 会計別骨格予算額



主な質疑・答弁

問 骨格予算といえども一三六億円とかなり大きく、本格予算に近い。歳入で地方消費税交付金や地方交付税が増えている。消費が落ちている中で心配だがどうか。

答 地方消費税交付金は県からの推計値にもとづいている。地方財政対策のなかで一兆円増の別枠が盛り込まれている。消費の冷え込みが危惧されるが、今後状況をみながら、県と適正な額にもつていくよう努める。

問 地方交付税の二次配分はあるのか。

答 普通交付税の増額の可能性はないと考えている。

問 本格予算のときに財源はあるのか。財政町政基金も底をつく段階で無理があるのではないか。

答 骨格予算では、道路新設改良事業費などの投資的経費、定住・交流にむけたまちづくりなどのソフト事業などは除外している。投資的経費については今後、地方交付税や国・県の支出金、補助金の残、町債の活用などで財源調達をしていきたい。一般財源をとまなうソフト事業については臨時財政対策債や、概算で計上した普通交付税を精査し捻出していく。

問 オーバーレーでの道路補修は効果があるが今年の計画はどうか。

答 あちこちで亀の子状態の道路がある。平成二十年度補正で組んだ箇所が完了した秋ごろに、支所などによせられた新たな要望箇所について、財政を見ながらすすめていきたい。

問 小型合併浄化槽の設置数が七五基となっているが、旧町別の配分は。

答 水洗化率を考慮しながら配分しており、芸北・二五基、豊平・三七基、大朝・七基、千代田・六基としているが、申し込み数によって調整する。

問 農業集落法人の立ち上げ時の町補助は復活はできないか。

答 骨格予算には含んでいない。機械導入等は補正で対応したい。

問 新しい施設をつくっていく時代ではないので、公民館、集会所、地域の拠点施設などの維持補修の手立てを。

答 手を加えながら活用すること、が肝要。やるべきポイントはたくさんあって、老朽化してどうにもならないところもある。支所、地域の声を聞きながら一つずつ、明確にしなからすすめていく。

町政を問う

一般質問

― 二月定例会 ―

行政

問 どうする失業対策

答 緊急対応を考えている



梅尾 泰文

害者雇用は果せていない。

千代田中学校の完全給食は

問 百年に一度という不景気なとき、千代田の流通工業団地に本当に企業誘致はできるのか。

答 立地決定の時期がずれ込んでいるが必ず実現させる。

問 町として雇用対策を考えているか、また町職員採用予定者二名のうち障害者の雇用は果たせているか。

答 雇用情勢は深刻である。町臨時職員の募集や緊急雇用対策事業に県と連携しながら進めていく。障



▲企業進出予定地 流通工業団地(本地)

問 北広島町には二十一の公立小・中学校があるが、現在完全給食でないのが千代田中学校だけである。食育という観点からもこのままには出来ない。今後の方針を聞く。また給食費の無料化は考えられないか。

答 完全給食にむけて検討している。PTA関係者とも協議をして新年度の早い時期に実施できるように進めて行く。給食費の無料化は難しい。

八重東小学校
5年生の皆さん



産業

問 県道四〇号線の歩道未設置箇所について

答 安全性の確保を県に求める



室坂 光治

問 主要道である県道四〇号線「安佐豊平芸北線」の都志見字中野原付近の歩道未設置区間が約二百メートルある。十数年にわたり県に陳情や要望をしてきたが設置に至っていない。要望箇所は自動車の通行量も多く歩行者や自転車の通行に不安がある。積雪時には道路脇の竹が雪の重みでセンターライン近くまでふさが、さらに凍結による自動車事故も数件発生している。豊平中学校の通学路にもなっており、生徒の通学安全確保のため早急な歩道の設置が必要である。早急に対処出来ないか。

答 安佐豊平芸北線は平成七年に道路改良一部と歩道設置を残し完了している。質問にある箇所については地元からの要望があり、平成十六年から十七年度にかけて事業説明会を開催したが、歩道設置事業が地元として総意に至っていない。このため平成十八年度から休止をしている。町としても子どもたちをはじめ、歩行者を交通被害から守るため芸北建設局に対し要望して参りたいと考えている。道路改良の計画に盛り込まれていないという事が実態としてある。安全性の確保という観点からも歩道設置について早急に県の方へも事業の推進を求める。



来ないか。

産業

問 どう取り組みむのか、産地確立対策

答 先ず協議会を集約する方向で



中村 勝 義

問 平成二十一年度から三カ年の米政策が明らかになった。

これまでの産地づくり交付金は「産地確立交付金」に名称は変わるものの、内容はほぼ現行どおりとなっている。これまで四つの協議会毎に、同一作物で助成単価に格差があった。助成単価の統一を含め協議会の今後の在り方と、年々増加傾向にある耕作放棄地の解消策を問う。

答 現在の四協議会は、農協毎の二協議会へ集約する方向性が打ち出されている。広島北部農協は、転作奨励金のメニュー、単価ともほぼ統一したものにすることとし、広島市農協の場合は、更なる検討が必要な状況である。耕作放棄地は、約一―三ha存在しその内直ちに耕作が再開できる

農地は約一―haのみである。国は解消計画を策定し補助事業を予算化しており、これについて検討、協議し対応したい。

減災社会は学校の耐震化から

問 学校は、災害時には地域住民の避難場所になるだけでなく、地域コミュニティの核でもある。交付金を耐震化工事に使途変更は。

今回の交付金は、今年度事業対象であり遅くとも二十一年度末にはすべて完了してはならない。この交付金より「起債」で対応した方が有利であると考えている。

答 今年度の交付金は、今年度事業対象であり遅くとも二十一年度末にはすべて完了してはならない。この交付金より「起債」で対応した方が有利であると考えている。



行政

問 「きたひろネット」の利用料の引き下げを求める

答 料金の引き下げなどサービス向上に努める



藤井 勝 丸

問 高度情報通信社会への早期対応「きたひろネット」事業は理解できるが、活用する能力が乏しい高齢者、低所得者は負担が重い、加入率七〇％で月額二千円とした利用料について、加入金が無料になり加入率が上がることを確実な状況の中で月額利用料を下げることを求める。

事業として成り立つ最低限度の加入率七〇％として月額二千円を設定した。加入率向上及び営業収益を上げ、経費節減に努め料金の引き下げなどサービス向上に努める。

答 事業として成り立つ最低限度の加入率七〇％として月額二千円を設定した。加入率向上及び営業収益を上げ、経費節減に努め料金の引き下げなどサービス向上に努める。

省させられた事件である。事件発生の原因、再発防止対策は適切かを問う。

答 【事件の原因】

- ①公務員としての倫理の欠如
 - ②管理監督のチェックの甘さ
 - 【再発防止対策】
 - ①公務員の倫理の徹底（職員倫理規定・懲戒処分指針等の策定）
 - ②入札工事監督体制の見直し（入札監視委員会等工事監督規定の整備）
 - ③人事管理の見直し（人事単価制度人材育成基本方針の策定）
- 風通しの良い職場職員の資質の向上、使命感の向上など人材育成に努め再発防止に努める。

職員の賄賂事件の対応
再発防止対応は適切か

問 公務の重要性、公務員の責任の重大性を改めて認識、反



行政

問 所得減によるローン返済の救済策は

答 大所高所からの検討が必要



中田 節雄

問 未曾有の経済危機の中で、大幅に所得が減少し、住宅ローン等の返済が家計の中で、大きな負担となっている。こうした状況を軽減するためにも、国政の場での議論が必要であり、緊急経済対策として、政府へ強く要望していくべき時と考える。

答 ローン返済の実態については詳細の状況を把握するのは難しいが、本町だけでなく、地方六団体等で議論を進めることが必要であり、問題意識を深めながら対応していく。

獣の被害対策の助成は

問 獣の被害は、全国的に報道されており、農作物に大きな被害をもたらしている。この被害

により、生産意欲が減退し、増々耕作放棄地が増え、獣の領域が拡大し、被害も拡大する結果となっている。獣の駆除については、猟友会の駆除班の方もおられるが、基本的には、地域が主体となつて、地域を守っていくべきであり、そのためにも助成制度を充実していくべきである。

答 農地周辺の藪を伐採するバッファゾーンについては、森づくりの事業にメニューがある。移動式箱罾や固定式罾いりについては半額の県補助があるが、単町補助についても検討していく。



行政

問 米国の政策転換対応と農林業対策の充実を

答 町の特徴を生かした町づくり・農林業の発展を



松田 実

問 今日までの米国は世界の警察官を自負し、一國至上主義に基づき戦争産業を中心に経済発展をしてきたが、イラク戦争・中東紛争・アジア南西部・北東部の不安定等、力の政策では「安心・安定」の社会構築ができないことが実証され、「対話による協力・協調」を基底のオバマ大統領を就任させ地球レベルでの環境を護る政策転換推進に取り組みされている。

答 日本も輸出中心から内需拡大社会に変化させる必要があるが、政治は混迷を極めている。本町の雇用状況の現状及び環境対策を含めた農林業施策の充実強化策を聞く。

問 国の政策が小泉内閣の構造改革路線から東京一極集中型を転換していく方向の中で、福田



内閣から地方再生の言葉が出て、地方分権一括法が制定された。本町の雇用状況は昨年八月以降急激に変化し三・五倍の求人率から一・〇を割る方向に変化しており対応策を検討する。農林業問題については広い意味での環境問題を中心とし、農業法人化で担い手育成し、小規模農業は北広島バザールの活用発展をする。林業は中国木材材の進出で県事業と連動し充実強化していく。

産業

問 スキー産業の振興対策について

答 集客力アップに取り組む



宮本 裕之

子ども農山村交流プロジェクトにおいても、冬季の雪とのふれあいの中でスキー体験を行うよう計画していく。

問

本町は本州最南端のスキー場を持ち、冬場はスキー客で賑わうスキー産業の町である。しかし近年、スキー人口の減少を始め、温暖化等による雪不足、さらには景気の減退で全国的に極めて厳しい状況にある。営業停止や廃業を決めたスキー場も増えており、スキー産業の振興対策を町としてどう取り組むのか。

答

本町のスキー産業は、雇用の確保、民宿経営など経済効果も高く極めて重要な産業と認識している。入り込み客も平成十一年の八九万人をピークに年々減少し、昨年は三〇万人を割っている。今後、町としても集客力アップに向け、観光協会や各種団体とも協力し、努力して行く。また、町内の小中学校でのスキー教室や、



振興対策が
生まれるスキー場

産業

問 中山間地等直接支払い制度の継続を求める

答 県等関係機関と一緒に継続を強力に求める



亀岡 章治

出している。

平成十二年に始まった中山間地等直接支払い制度は、来年度二十一年をもつて二期目を終える。この間における事業効果は甚大であり、高齢化の激しい中山間地域にあって、これ程の例は他にない、現在二十二年度から三期目の事業継続の如何が協議されていると聞いている。その現状と継続の可能性、取り組みについて問い、制度継続を求める。

答

平成十二年に中山間地等直接支払い事業が第一期としてスタート、十七年から町村合併を契機に急傾斜地に緩傾斜地を含め事業内容の充実を図った。十九年度における交付額は三億三六〇〇万円、内五六%、一億八九〇〇万円が地域の共同的取り組みに充当され大きな事業効果を

国は二十一年度末の第二期完了を前に事業評価に取り組んでいる。耕作放棄の防止、農地の維持等、事業目的に対し現事業で継続か、新たな対策の構築か、八月をめどに結論を出す。他方県の内陸部振興対策協議会は、二十二年度から第三期に向けて更なる事業の拡充継続を要望し、広島県も国に対し過疎地域振興対策として継続を求めている。町としても、これらの関係機関と行動を共にし事業の第三期継続を国に対し強力に求めていく。



行政

問 緊急対策事業の効果は

答 タイムリーな事業であった



浜田 芳晴

すカラーコーン設置箇所等、町内二十七ヶ所を今回の事業と災害対策で改修をする。その他舗装の補修、河川の維持などを考えている。

問 国の緊急対策事業は本町にとってタイムリーな事業である。町民は道路に穴が開いている、グレーチングがはねる、建物の補修をと言った小さな問題が気になる。通常町費で補修の出来なかった建物の補修や、道路もオーバーレーと言いう工法で穴ぼこの補修が出来る。特に光ケーブルの「きたひろネット」は負担金の無料化が実現。今まで、水道や下水道事業などは末端までいかなかったが、この事業で引き込み線まで無料化とし、全戸加入で公平のサービ

スを考えてはどうか。
国の雇用対策事業で、農業従事者の高齢化、担い手対策等に対応できるのか問う。

答 本町としてはタイムリーな事業と考え、道路の危険を示

農林業・地域の特性を生かした雇用の機会と開発、創造を考える事業で、農業の大きな柱として、北広島町バザールや町内の農産物を大規模に直接消費者に届ける仕組みやビジネスなどの仕組みとコーディネートをしていく。的確な人材をこうしたポストに就いていただく事を考えていく。



行政

問 北広島町職員の人作りとこれからの課題を問う

答 職員の資質の向上と組織の活性化を図る



真倉 和之

問 組織のよどみとも言われる人事配置とローテーションは、三〜五年が適切ではないか。

答 人事異動は同一職場に五年以上の在職を対象とし人材育成組織の活性化を図っている高度な専門知識経験を要す職場は執行体制の確保に長期在職があった。今後は適切な人事配置に努める。

問 予定価格入札契約事務の改善エック機能の強化を問う。

答 本年度から実施している設計金額五千万円以上の工事の一般競争入札を設計金額一千万円の工事まで拡大し、平成二十一年度から実施予定価格も一般競争入札の拡大に合わせ、公表を継続し業者氏名入札まで入札事務の透明性公平性を確保し、外部手

エックの入札監視委員会等設置の効果を含め検討している。

問 公務員の倫理規定の設置はどの点に重点を置かれた規定を考えておられるのか。

答 倫理規定は全体の奉仕者に当たること、常に公私の別を明らかにし職務や地位を私的な利益に利用しない基本的な心構えを規定する。

問 職員の資質向上に広島県自治総合研修センターでの研修状況を問う。

答 一般研修は課長係長級昇任時と新規採用者に受講が必須で今年度八名受講し政策形成力、組織マネジメント力、業務遂行能力など行政運営能力を向上の特別研修に五十二名受講している。



三月臨時議会

議長に加計雅章

副議長に中田節雄を選出

三月二十四日（火）北広島町臨時議会が招集され、議長・副議長の選出について、いずれも二名が出馬の表明演説を本会議で行った。全議員で投票を行い、その結果、議長・副議長とも十一対九で決定した。



議長
加計 雅章



副議長
中田 節雄

ご挨拶

加計 雅章

北広島町第2期の町議会選挙が三月に執行され、合併当初の定員二十六名から六名減の二十名となりました。三月二十四日に新議員による臨時議会が開催され、議員の皆様

の推挙をいただき栄えある議長に就任させていただきました。今後は、議長の責務と使命を全うするために、全力を傾注する覚悟です。

さて合併二期目を迎えて、一期四年間は種まき・芽だしの基礎づくりでしたが、今後は花を咲かせ、実を付けさせることが必要です。そのためには、定住と交流を基本に地域再生を行うことが求められており、特に若者定住には努力を惜しまないところです。

きたひろネット事業による情報格差の是正、安心して働くための企業誘致、農林業分野の市場開拓、子育て環境・教育環境の充実等々は必要不可欠なものです。

議会は、町民との対話の中から生まれてくるものをもつて、議員同士が議論を重ね、町のあるべき姿を導き出す努力こそが大事であります。



美濃孝二
○箕牧智之
大林正行
◎藤堂修壮
真倉和之
蔵升芳信

町民皆様の議会に
対する期待と役割の
重さを痛感していま
す。本町の将来を短
期的・長期的に展望
し、所管事務調査な
ど委員が一丸となつ
て取り組み、将来に
誤りのない町づくり
のため、調査研究を
行い、夢の持てる北
広島町をめざして参
ります。

藤堂 修壮

常	総		
任	務		
委			
員			
会			



中田節雄
田村忠紘
◎伊藤久幸
藤井勝丸
日山静樹
◎久茂谷美保之
大下正則

今回の議会構成に
より、本委員会の委
員長に就任しました。
また、本年度より教
育委員会が、当委員
会の所轄に加わりま
した。伊藤副委員長
を始め委員全員で本
町の福祉・教育の向
上にむけて努力して
まいります。

久茂谷 美保之

常	福		
任	祉		
委	保		
員	健		
会			



宮本裕之
中村勝義
◎浜田芳晴
梅尾泰文
室坂光治
◎亀岡章治

改選後の議会にお
いて、産業建設委員
会に所属を致しまし
た、食糧自給力の向
上、自立可能な農業、
道路整備や住環境整
備等、与えられた職
務を六名の委員で力
を合わせ頑張つて参
ります。町民皆様の
御支援をお願い致し
ます。

亀岡 章治

常	産		
任	業		
委	建		
員	設		
会			

◎は委員長、○は副委員長



● 亀岡章治

● 藤堂修壮

● 伊藤久幸

● 久茂谷美保之

◎ 田村忠紘

○ 真倉和之

● 中田節雄

● 梅尾泰文

議会運営委員会は、議長の諮問機関で、本会議の会期を決めたり、議会の総合的な方針を決めたりする重要な責務を持っています。委員は、

副議長、常任委員長と各地域の議員代表の八名。活発な委員会めざし頑張ります。

田村 忠紘

議	会
運	営
委	員
会	会



◎ 蔵升芳信

○ 大林正行

本特別委員会は「きたひろネット」に関する施設整備や運営方法等について、町民皆様の声を活かすべく協議を行なう委員会です。議長を除く

一九名で構成されています。「きたひろネット」がより有効に活用され、町民にとって有益なものとなるよう努力してまいります。

蔵升 芳信

地	域	情	報	化	基	盤	整	備
特	別	委	員	会				



◎ 蔵升芳信

● 箕牧智之

● 大下正則

◎ 宮本裕之

● 美濃孝二

○ 梅尾泰文

● 中村勝義

議	会
特	別
委	員
会	会
報	告
会	会

◎は委員長、○は副委員長

北広島町議会構成

北広島町議会では、よりよい町政を行うため、三つの常任委員会・議会運営委員会・その他特別委員会等を設けて、活動を行っています。

議長

加計 雅章

副議長

中田 節雄

【議会議決の選出議員】

◎…委員長 ○…副委員長

議会運営委員会 8名

◎ 田村 忠紘 ○ 真倉 和之
中田 節雄 藤堂 修壮
久茂谷美保之 亀岡 章治
梅尾 泰文 伊藤 久幸

総務常任委員会 6名

◎ 藤堂 修壮 ○ 箕牧 智之
蔵升 芳信 美濃 孝二
真倉 和之 大林 正行

地域情報化基盤整備特別委員会

◎ 蔵升 芳信 ○ 大林 正行
議長を除く全員

福祉保健常任委員会 7名

◎ 久茂谷美保之 ○ 伊藤 久幸
田村 忠紘 藤井 勝丸
日山 静樹 大下 正則
中田 節雄

議会広報特別委員会 7名

◎ 宮本 裕之 ○ 梅尾 泰文
蔵升 芳信 美濃 孝二
中村 勝義 大下 正則
箕牧 智之

産業建設常任委員会 6名

◎ 亀岡 章治 ○ 浜田 芳晴
梅尾 泰文 室坂 光治
中村 勝義 宮本 裕之

【一部事務組合等議員】

芸北広域環境施設組合 3名

加計 雅章 中田 節雄 藤井 勝丸

山県郡西部衛生組合 2名

久茂谷美保之 美濃 孝二

山県郡町村税等滞納整理組合議会 2名

加計 雅章 中田 節雄 (3月31日解散)

広島県後期高齢者医療広域連合議会 1名

伊藤 久幸

監査委員 1名

中村 勝義

二月定例会【条例】

条例制定直接請求審査特別委員会報告

「里山保全整備に関する条例について」

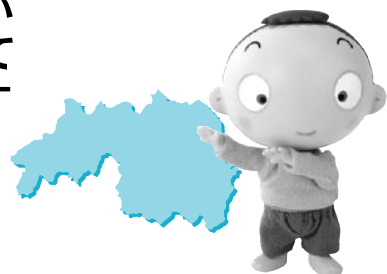
里山の環境を開発行為等の抑制で保全を図ることを主体とした「北広島町里山の保全整備に関する条例」の制定請求が受理され、町長の意見を付して議会に提案された。

直接請求者の意見陳述が行われた後、特別委員会を設置する。



委員長報告 箕牧智之

二月九日、条例制定直接請求審査特別委員会を招集、説明員の出席を求めて町長提出の意見概要、町の「北広島町環境保全に関する条例」や上位法との適法性等、慎重に審査を行い、特別委員会として採決の結果、全員一致で「原案否決」と決定しました。



三月臨時議会

反対討論

賛成討論

副町長の選任について

三月二十六日、任期満了に伴い、副町長に村上参事を執行部から提案されたが、説明が足りないなどの理由もあり、休憩をとり、執行部からの説明を求め反対・賛成討論の後、賛成多数で可決した。

反対討論

美濃孝二 議員

当日提案して、詳しい経歴もなく、同意を求めることは、議会をまったく軽視していると思わざるを得ません。いったん取り下げ、あらためて提案をすべきであり反対する。

他に、反対討論

梅尾泰文 議員

賛成討論

宮本 裕之 議員

村上氏は二年前、県から参事として本町へ赴任され、今日まで地方分権に伴う県からの権限・事務委譲のスムーズな体制づくりを始め、行財政の健全化を図るための集中改革プランの策定・スリムな行政体制の確立、さらには補助事業の獲得等多大な貢献をされてこられた。また、本町の潜在能力の大きさにも期待をされている。

二期目のスタートを切る本町の発展を考える時、県とのパイプ役としても重要な人材であり、適任と認め賛成する。

他に、賛成討論

箕牧智之 議員

反対討論

美濃孝二 議員

北広島町介護保険条例の一部を改正する条例



北広島町議会 第2期スタート



表彰

- 久茂谷議員 在職15年表彰
- 北広島町議会表彰
- 北広島町議会広報表彰
- 北広島町議会事務局表彰

意見箱



傍聴者の方から「意見をいただきました。ありがとうございます。」
要約して掲載します。

- 一、答弁する人の声が聞きにくい、もっとゆっくり、大きな声で答弁してほしい。
- 一、デマンドバスの料金を下げてもらいたい。
- 一、お年寄りが元気になる行事を開催してほしい。

傍聴者 一〇六名
インターネットアクセス 一四七六回

あとがき

北広島町議会の二期目がスタートしました。

選挙後初の臨時議会が去る三月二十四日から三月二十六日まで開催され、議長、副議長の選出を始め、各常任委員会、特別委員会の構成も決定しました。

今回は、二月定例会、三月臨時議会に加え、議会人事特集を組み発行させていただきました。

予算審議での質疑応答や委員会報告、さらには各条例・陳情についても詳しく内容を掲載し、町民皆様に「読みやすく、わかりやすい」議会広報を目指して委員一同頑張っております。

今後とも議会へのご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

議会広報特別委員会

委員長 宮本裕之

副委員長 梅尾泰文

委員 蔵升芳信

委員 美濃孝二

委員 中村勝義

委員 大下正則

委員 箕吹智之